

令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 富洲原

地区内 No	01	事業名	富洲原の魅力再発見 Volume 3
--------	----	-----	--------------------

1. 課題と方策

地域の個性がかったの合併や都市化で埋没し、高齢化や人口流出によって住民間の絆も弱まりつつあり、まちづくりの担い手（特に若者の）不足が顕著な中、地域の 3 大祭りとして長きにわたり住民に親しまれてきた、松原の「聖武天皇社石取祭り」、富田一色の「大念仏行事」、天カ須賀の「住吉神社石取祭り」はいずれも後継者不足が大きな課題となっている。そこで、地域の伝統文化として後世に継承できるように取り組みが求められており、地域の歴史文化遺産を再発見できるよう、それらを映像情報として保存し、歴史文化遺産の継承につなげる。

2. 実施内容	実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 中止→ <input checked="" type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託（ ）

地域の三つの祭りについて、各々の歴史をはじめ語り継がれてきたしきたりや作法等の内容も含め、イベント全体を映像情報「富洲原 祭」に収録し、データを DVD に保存の上、地域へ配付し、伝統文化の継承に役立てるよう、昨年度に企画したところ、台風により天カ須賀の「住吉神社石取祭り」は祭りのほとんどが中止、富田一色の「大念仏行事」はメインの催しが中止となったため、松原の「聖武天皇社石取祭り」と富田一色の「大念仏行事」の開催された部分のみで DVD を完成させ、その映像を地区ホームページ及びフェイスブックに掲載した。

本年度は、天カ須賀の「住吉神社石取祭り」と富田一色の「大念仏行事」のうち前年度収録できなかった部分を収録して DVD を完成させ、その映像を地区ホームページ及びフェイスブックに掲載する計画であったが、これも新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての祭りが中止となり計画は次年度以降に持ち越しとなってしまった。

しかしながら、平成 30 年度の当該事業として 3 カ所の公会堂に「自治会と旧町名」看板を設置した際、当センターへの設置についても地元から強く求められたが予算等の関係で断念しており、今回、当初予定した事業が新型コロナウイルス感染防止のため実施不可能となったことを受け、改めて当センターへの同看板の追加設置を行った。

3. 事業費実績 123 千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
富洲原の魅力再発見 Volume3	委託料	123,200	看板制作取付一式
合計			

4. 効果 指標 5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)	今後の展開（継続する場合はその必要性）
地元関係者との打ち合わせ回数	1	1	



令和2年度地域活動費事業【実施報告書】

地区名 富田

地区内No	1	事業名	にぎわいのある文化の薫るまち富田をめざして
-------	---	-----	-----------------------

1. 課題と方策

『十四川と環境を守る会』が保全に努めているが、計画性がなく場当たりのであり、また十四川の桜は老木が多く、適正な管理を行わないと将来にわたって桜並木を保全できない。
 十四川堤防の桜を将来にわたり保全していくために、平成30年度に策定した管理計画に基づき、伐採・剪定・施肥を適切に実施する。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/□その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（十四川と環境を守る会）

「十四川の桜」樹木管理業務委託

- 伐採 4本
- 枝払い 17本
- 枝剪定 10本
- 計 31本

簡易リフト購入

トヨーコーケン JA-4AX 1台

3. 事業費実績 704,400千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
みどり豊かな住みよい環境整備	委託料	480,000	樹木管理
	備品購入費	224,400	簡易リフト
合計		704,400	

4. 効果 指標

指標	目標	実績(見込)

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

5年間の樹木管理計画に基づき、十四川の桜を保全していく。



十四川桜 伐採・枝払い工事 1
 十四川桜 伐採・枝払い工事 5



F-78
 完了
 作業中
 完了

令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 羽津

地区内 No 3 事業名 史跡説明看板設置事業

1. 課題と方策

羽津地区には旧東海道沿いを中心として数々の史跡があり来訪者が比較的多い地区であるが、史跡に関する案内が不足気味であり、史跡について、あまり関心のない住民も見受けられる。このことから、「来訪者へのおもてなし」を充実するとともに、地区住民に地域について関心や愛着を持ってもらうために、史跡に関する説明の看板を設置する。

2. 実施内容

実施状況 実施 中止 コロナ/その他実施方法（委託の場合は委託先） 直営 委託（ ）

昨年度に引き続き、平成30年度に各種地区団体構成員による選定会議で決定した候補地をベースとして、5カ所に史跡説明看板を設置した。

設置した史跡

①糠塚山（額突山） ②志氏神社 ③志氏神社一の鳥居 ④正法寺 ⑤浄恩寺

3. 事業費実績

454千円

金額単位:円

事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
史跡説明看板設置事業	委託料	454,300	看板製作・設置
合計		454,300	

4. 効果

指標

指標	目標	実績(見込)
看板設置数	4カ所	5カ所

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

地区で希望する史跡に看板設置ができたことから、今年度をもって、本事業は終了する。設置した看板は、今後、地区のPRに活用していく。



令和2年度地域活動費事業【実施報告書】

地区名 羽津

地区内No 4 事業名 子育て支援講座開催事業

1. 課題と方策

羽津地区は市内でも高齢化率が低く、若い世代が多い地区であり、子育て世代も多い地区であることから、楽しく安心して子育てできる環境づくりを支援するために、妊婦や子育て中の親子を対象に講座を開催する。

2. 実施内容

実施状況	■実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 ■委託（羽津地区まちづくり推進協議会）

（具体的に、いつ、何を、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

昨年に引き続き、妊婦や子育て中の母子を対象に、マタニティヨガや親子バランスボールなどの講座を開催し、楽しく子育てできる環境づくりを支援した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、当初予定していた回数を開催できなかったが、感染状況を伺い、感染防止策（手指消毒、換気等）を取りながら、講座を開催した。

【講座】

- ①ベビーマッサージ講座
- ②親子バランスボール講座
- ③親子ヨガ講座
- ④マタニティヨガ講座
- ⑤バレトン教室

6月以降で50回を予定したが、計44回の開催であった。

3. 事業費実績 220千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
子育て支援講座開催事業	委託料	220,000	講師謝礼
合計		220,000	

4. 効果 指標 5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)	講座に参加することにより築いた住民同士のつながりを、子育て中で終わらせることなく継続させることにより、世代を超えてみんなで子育てできるまちをつくる。
参加者数	200組	170組	



令和2年度地域活動費事業【実施報告書】

地区名 羽津

地区内 No 5 事業名 ふれあい広場充実支援事業

1. 課題と方策

羽津地区は市内でも高齢化率が低く、子どもが多い地区であるが、子どもが安全安心に遊べる場所が少ないことから、安全安心に遊べる場所を地域住民により管理・拡充できるようにするための支援となる講座を開催する。

2. 実施内容

実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナノ/口その他
実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（羽津地区まちづくり推進協議会）

（具体的に、いつ、何を、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

名古屋市天白区白川公園にある「てんぱくプレーパーク」に常勤プレーリーダーとして勤める塚本岳氏他1名を講師に招き、プレーパークの意義、プレーリーダーの役割、リスク管理の手法等について、学習した。

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、人数を制限し、羽津地区の地域づくりに関心のある17名の方々に受講していただいた。

10月17日（土）10:00～15:30
 羽津地区市民センター2階ホール、糠塚山（額突山）
 10:00～12:00 講義
 13:00～14:15 講義、ワークショップ
 14:30～15:30 フィールドワーク

3. 事業費実績 147千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
ふれあい広場充実支援事業	委託料	146,872	講師派遣費、交通費、保険料 振込手数料
合計			

4. 効果 指標 5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)	額突山市民緑地が令和3年3月開設予定であり、今後、この場所をプレーパークとして住民自らが整備、管理運営していただけるよう支援を続ける。
参加者数	20人	17人	



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	常磐
-----	----

地区内 No	1	事業名	ゾーン30推進事業
--------	---	-----	-----------

1. 課題と方策			
<p>常磐地区内には、これまでゾーン30エリアはなく、中川原通りや松本街道の抜け道として、地区内の生活道路や通学路を車が速い速度で通り抜けており非常に危険な状態であった。まちづくり構想における安全安心なまちづくりのメイン方針として、時速30km以下のまちづくりの推進をあげており、令和元年度の区域指定に引き続き、計画的に順次ゾーン30エリアとなるよう取り組みを行っていく。</p>			
2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナノ <input type="checkbox"/> その他	
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（常磐地区まちづくり協議会）	
<p>① 啓発看板作成・設置 令和元年度にゾーン30区域に指定された石塚町・城西町・ときわ五丁目・赤堀二丁目区域内において、啓発用看板やポスター、パンフレットの作成・設置・配布等を行ったが、今年度は啓発用看板をさらに追加して作成・設置を行った。</p> <p>※今年度、城東町・城北町区域のゾーン30区域の認定がされなかったため、令和元年度指定区域のさらなる啓発を行うこととした。</p>			
3. 事業費実績		169千円	
金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
ゾーン30推進事業	委託料	169,000	看板作成・設置 30枚×@3,000円×1.1 1枚×@63,637円×1.1
合計		169,000	
4. 効果		指標 1区域以上のエリアの拡大	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）
指標	目標	実績(見込)	今後さらにゾーン30エリアを拡大し、安全安心なまちづくりを推進する。
1区域以上のエリアの拡大	1区域以上	0	



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 常磐

地区内 No	4	事業名	マスコットキャラクターを用いた地域活性化事業
--------	---	-----	------------------------

1. 課題と方策			
常磐地区共通のマスコットキャラクターを作成し、それを核とし、地域の一体感の醸成、活性化につなげる。			
2. 実施内容	実施状況	■実施（一部） □中止→ □コロナ／□その他	
	実施方法（委託の場合は委託先）	□直営 ■委託（株式会社サードアイ）	
<p>① 着ぐるみパーツ作成（くつ） 常磐地区マスコットキャラクター「ときはちゃん」は、平成30年度に製作し、令和元年度にパーツ（手袋及びズボン）を製作した。 パーツのくつは、消耗が激しいことから予備として今年度新たに製作し、活用することとした。</p> <p>② 啓発物品（缶バッジ）作成 コロナ過で啓発物品（缶バッジ）を活用する機会がなかったことから、作成しなかった。</p> <p>③ 着ぐるみクリーニング コロナ過で着ぐるみを活用する機会が1回しかなかったことから、クリーニングを行わなかった。</p>			
3. 事業費実績		55千円	
金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
マスコットキャラクターを用いた地域活性化事業	委託料	55,000	着ぐるみパーツ(くつ)
合計		55,000	
4. 効果		指標 活動回数10回以上	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）
指標	目標	実績(見込)	地域に愛されるマスコットキャラクターとして、来年度以降へもつなげられるよう、各団体等での活用を促進し、地域住民への周知を深める。
活動回数	10回以上	1回	



令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	日永
-----	----

地区内 No	2	事業名	ダンボールトイレ製作マニュアル事業
--------	---	-----	-------------------

1. 課題と方策

災害時における被災者のトイレ対策は、極めて重要である。災害を想定したトイレ機能確保の訓練の一環として平成 30 年度に、身近な素材である段ボールを使用したトイレの製作を行った（地域活動費を活用）。ダンボールトイレ普及に向けたマニュアルを作成し、自主防災隊を中心に配布。防災訓練等に活用することで、地域防災力の向上につながる。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（日永地区自主防災協議会）

ダンボールトイレの製作マニュアルを、理解しやすいイラスト入りで作成した。
 令和 2 年 10 月 16 日（金）日永地区自治会長会議（地域防災隊含）において、マニュアルを配布し、ダンボールトイレの重要性・製作ポイント等を説明すると共にマニュアルの活用と普及に努めた。
 コロナ禍の影響により防災訓練の中止が相次いだ。令和 3 年 1 月 7 日（木）日永地区内の単位自治会（菜の花苑）防災訓練において、マニュアルを活用したダンボールトイレの製作訓練を行った。災害時におけるトイレ事情を知る機会は少なく、参加者からは積極的な質問があった。
 災害時のトイレ機能確保の重要性と製作スキルの普及を行い、地域防災力の向上につなげることができた。

3. 事業費実績 226 千円

事業項目(種目)	支出科目	支出金額	金額単位:円	
			内訳	
ダンボールトイレ製作マニュアル事業	委託料	226,000	イラスト原稿料	50,000
			印刷費	176,000
合計		226,000		

4. 効果 指標

指標	実績
日永地区自治会長	33名
単位自治会訓練参加者	11名

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

今後も防災訓練等の機会にマニュアルを活用し、地域防災力の向上に努めたい。

日永地区自治会長会議



単位自治会防災訓練（菜の花苑）



令和2年度地域活動費事業【実施報告書】

地区名 四郷

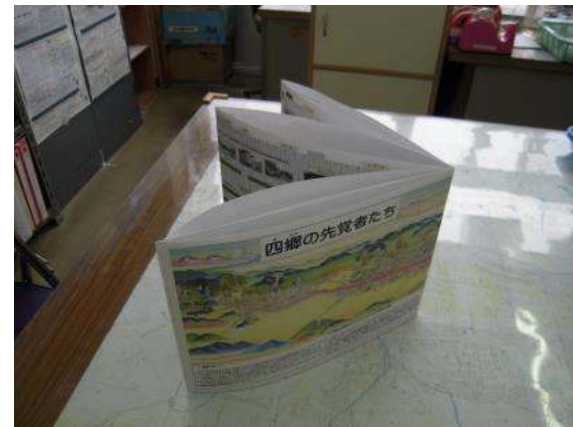
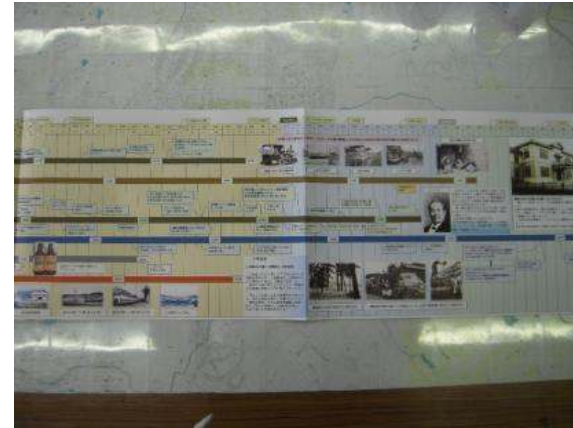
地区内 No	1	事業名	四郷ふるさと事業「みんなで学ぼう四郷の近代化と近代産業の祖」【継続】
--------	---	-----	------------------------------------

1. 課題と方策			
<p>課題地域の誇りとなる特色ある地域資源が多数存在し、古くからの住民は地縁によるつながりが強い。しかし、新転入または若い世代の住民には認知度が低く地域への思いは希薄になっている。</p> <p>方策四郷は四日市における近代産業発祥の地として栄え、それに貢献した四郷の偉人の功績や足跡、四郷の近代化の歴史を地域住民が学習するとともに地区内外への周知を図り、地域への愛着心を育む。</p>			
2. 実施内容		実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナノ <input type="checkbox"/> その他 実施方法（委託の場合は委託先） <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（四郷ふれさと実行委員会）	
<p>昨年度は生誕 200 年を迎えた五世伊藤小左衛門の功績や足跡と四郷の近代化の歴史を取り上げ事業化した。研究を進めた結果、近代化を説明するには他の偉人たちも含めて体系的に整理する必要があることが判明し、調査、研究を進めその成果を地区内外に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査、研究結果のパンフレットの作成し地区内外に配布する。 ・パンフレットを利用した発表会（講演会）を開催する。 ・調査、研究で収集した資料を小冊子にして記録に残す。 <p>以上の計画で始めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、人を集める発表会の開催は見合わせ、調査・研究結果をまとめたパンフレットを作成し、関係機関や地域に配布することとした。実行委員会のメンバーが担当する偉人たちを割り振り調査・研究を行い、会議にその結果を持ち寄り、協議を重ね原稿を完成させた。</p> <p>パンフレットはA3版100部、A4版308部を印刷し教育機関、行政機関、地元学校、自治会等に配布を行う。</p>			
3. 事業費実績		千円	
金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
四郷ふるさと事業「みんなで学ぼう四郷の近代化と近代産業の祖」	委託料	400,000	製本 339,680 円 原稿作成謝礼他 30,211 円 消耗品 14,329 円 その他経費 15,780 円
合計		400,000	
4. 効果	指標	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）	
指標	目標	実績(見込)	
従事者人数	50 人	61 人	
		事業は2年目であるが調査研究をまとめることは達成した。しかし、コロナ禍で発表の機会は断念せざるを得ず、来年度は成果の発表や周知で事業を継続したい。	

調査・研究の様子



成果品



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 内部

地区内No	1	事業名	スター創立10周年 さあスポーツと文化で健康増進を！
-------	---	-----	-------------------------------

1. 課題と方策			
<p>東京2020オリンピックをはじめ、2021とこわか国体・大会を契機に、本市でもスポーツを通じた活気あるまちづくりが必要となっている。特に総合型地域スポーツクラブである「うつべ☆スター」への参加登録者数が依然目標に達していない内部地区において、効果的にこの機会を活用すべきである。</p> <p>オリンピックマラソン代表内定の内部出身者を輩出しことを契機に、地域全体でスポーツに親しむことで住み続けたいまち、健康で長生きできる環境づくりをサポートするため、地域住民全員を対象とした運動会や伝統を継承して地域を盛り上げるため、町かど博物館祭りを開催する。</p>			
2. 実施内容		実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他 実施方法（委託の場合は委託先） <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（うつべ☆スター、まちづくり推進協議会）	
①うつべクリスマススイブの運動会 ・開催日：令和2年12月19日 ・開催場所：内部中学校運動場及び体育館 ・実施内容： 小学校の運動会を参考に、コロナ禍においても実施可能な演目を選び、コロナ対策を徹底して実施 ニュースポーツ、レクリエーションゲームなどで、多世代の誰もが参加できるものや、体育館では障害者スポーツ（ポッチャ、SSピンポン、ヘルスパレー）の紹介、体験 オリンピックマラソン内定の中村匠吾選手への応援を含めたミニマラソンと国旗への一言メッセージ ・成果：老若男女約100名が参加し、コロナ禍での運動不足解消や地域住民が触れ合う機会となり、生涯スポーツや障害者スポーツを紹介し、健康づくりへのサポートが行えた			
②うつべ町かど博物館まつり ・開催日：令和3年3月20日 ・開催場所：うつべ町かど博物館 ・実施内容： 昔懐かしい遊びの紹介・実践、郷土料理、伝統芸能等の紹介 小学生や就学前の子どもたちへ地元の町かど博物館の紹介 ・成果：内部の伝統を、若い世代から知っていただくことで、地域に住む意義を感じていただくような機会となった			
3. 事業費実績		1,000千円	
金額単位：円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
①うつべクリスマススイブの運動会	その他委託料	308,430	材料費(大縄跳び用具、玉入れ用具、ほか)
		191,568	諸経費(感染予防対策、お茶、コピー、ほか)
②うつべ町かど博物館まつり	その他委託料	430,000	材料費(昔遊び、パネル、木ねじ、ほか)
		69,998	諸経費(コピー、お茶、景品、ほか)
合計		999,996	
4. 効果		5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）	
指標	目標	実績(見込)	
①参加者	250人	100人	
②参加者	250人	100人	

①うつべクリスマススイブの運動会



チーム分けしてみんなで玉入れ



中村選手にちなんでミニマラソン



障害者スポーツ（ヘルスパレー）を体験



中村選手にエールを（寄せ書き）

②うつべ町かど博物館まつり



協力して段ボール毬づくり



おじいちゃん和竹とんぼづくり



昔の農作業を体験



防災について勉強

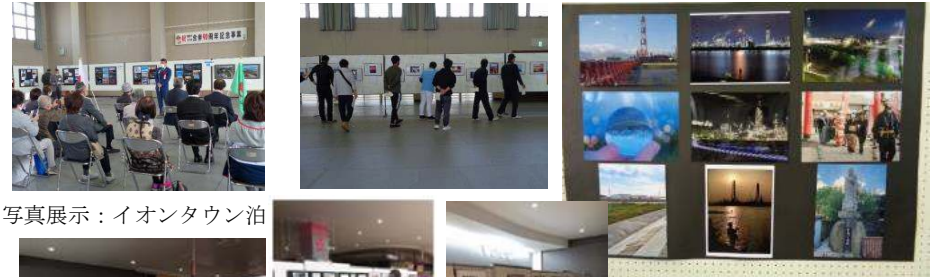
令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 塩浜

地区内 No	2	事業名	塩浜地区の魅力を伝える写真コンテスト
--------	---	-----	--------------------

1. 課題と方策			
<p>塩浜地区には、いまだに四日市公害のイメージが残っている。工場夜景や磯津海岸からの朝陽や夕陽を見るため、訪れる方もいる。特に大晦日から元旦にかけては、セントレア方面から昇る初日の出をみるため市内外から約 600 人以上の方が磯津海岸に訪れる。塩浜地区には、自然、風景等さまざまな魅力があり、写真コンテストを通じて公害のイメージを払拭し、地区のイメージの向上と効果的な情報発信を行う。</p>			
2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他	
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（塩浜まちづくり協議会）	
<p>1. 作品募集期間：令和 2 年 7 月 20 日～10 月 7 日 周知方法：チラシ・ポスター作成、中日新聞ホームニュース（8 月 8 日号）掲載等</p> <p>2. 作品応募：応募人数 50 人、応募作品 143 作品（昨年度 92 作品）</p> <p>3. 作品展示</p> <p>①塩浜村市制合併 90 周年記念事業（令和 2 年 10 月 24 日、25 日）【新規展示場所】 会場：昭和四日市石油体育館 * 来場者投票による特別賞への投票数 420 人</p> <p>②イオンタウン泊（令和 2 年 10 月 29 日～11 月 3 日）【新規展示場所】 会場：イオンタウン泊ウエルシア前通路</p> <p>③三浜文化会館子どもとおとなのアートまつり（令和 2 年 11 月 8 日） 会場：三浜文化会館ロビー</p> <p>④近鉄塩浜駅（令和 3 年 1 月 20 日～2 月 28 日）【新規展示場所】 会場：近鉄塩浜駅改札横掲示板</p>			
3. 事業費実績		227 千円	
金額単位：円			
事業項目(種目)		支出科目	支出金額
塩浜地区の魅力を伝える写真コンテスト		委託料	227,658
			写真展示・賞品 160 千円
			審査会 5 千円
			ポスター・チラシ 50 千円
			その他(郵送料等) 13 千円
合計			227,658
4. 効果		指標	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）
指標	目標	実績(見込)	<p>来年度も 3 年目の最終年度として、塩浜地区の魅力を地区外にも発信していきたい。 今年度は市美術展に入賞された方も応募いただいた。募集も積極的に行っていきたい。</p>
応募作品数	100 点	143 点	

○塩浜村市制合併 90 周年事業



○写真展示：イオンタウン泊



○写真展示：三浜文化会館子どもとおとなのアートまつり



○写真展示：塩浜駅掲示板



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	塩浜
-----	----

地区内 No	3	事業名	磯津鯨船活動再開支援事業
--------	---	-----	--------------

1. 課題と方策

四日市市の無形民俗文化財に指定されている「磯津鯨船行事」についてはこれまで長期間休止となっていたが、来年度の行事復活をめざし、磯津町自治会による鯨船保存会を再度立ち上げ、地域の住民に鯨船について周知を行う。また、周知の際に必要なのぼりや着用するTシャツを作成し活用する。ただし、他の補助金の対象となる山車本体や踊り子衣装、神社祭礼の経費は支出しない。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナノ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（磯津町自治会）

昨年度、市長に提出した「塩浜地区まちづくり構想」に、市の無形民俗文化財でありながら19年間休止中であった「磯津の鯨船行事」を踏まえた、地域の伝統行事等の復活という事項にも挙げられている。今年度は、活動団体である磯津鯨船保存会を磯津町自治会に再び設立し、来年度に、市の指定されている文化財行事を20年ぶりに復活できるように準備や地域への周知を行った。

広報よっかいち8月上旬号に鯨船特集が掲載された際に、磯津鯨船についても、磯津町自治会長に内容をお願いし、「保存会による活動再開を準備している」と地域の方に活動再開の期待を抱かせる掲載を行った。

令和2年11月1日には、地域へのお披露目会を開催し、設立した鯨船保存会のメンバーが倉庫から鯨船を引き出し、磯津公会所内に展示や引き回しの模擬実演を行い約800人の住民の方が見学に来ていただいた。

また、マスコミにも情報提供を行い、11月5日中日新聞朝刊北勢版に記事掲載があったほか、3月20日には東海テレビ「祭人魂」（11：25から）において、復活に向けた取り組みや苦労について「祭り復興への思い」という題で放映された。

3. 事業費実績 268千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
磯津鯨船活動再開支援事業	委託料	267,760	のぼり・ポール 181,300円
			Tシャツ 86,460円
合計		267,760	

4. 効果 指標

指標	目標	実績(見込)
活動団体立上げ	保存会設立	設立完了

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

来年度には、20年ぶりの市の無形民俗文化財指定行事の再開を目指し取り組むほか、地域の方への文化財としての鯨船の周知などさらに進めていきたい。



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 塩浜

地区内 No	4	事業名	まちづくり構想支援事業
--------	---	-----	-------------

1. 課題と方策

塩浜地区の人口は、ピーク時は17,000人(昭和35年)であったが、令和2年1月は6,100人と減少しており、小学校児童数も減少し、少子化、高齢化も年々進んでいる地域である。このため、自治会長や地区社協の役員等地域活動の中心的な役割を担っていただく方々も高齢化しつつある。

令和元年12月に市に提案した「塩浜地区まちづくり構想」の実現に向け、市の地区別構想策定を待たずに、緊急性や実現可能性のある課題について、女性や若い世代等多様な地域住民、企業、行政が連携して構想の実現に向けた組織を構成する。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法(委託の場合は委託先)	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託()

まちづくり構想の実現に向けての組織の立上げやスタートを切れるようにキックオフ講演会等を行う計画であったが、コロナウイルス感染拡大のため、予定通り行うことは出来なかったが、実行委員会立上げまでは行うことが出来た。

令和3年2月10日(水)13:30~

○まちづくり構想提出後の市の動きの説明

*都市計画課職員に講師をお願いし、自治会、社協、防災協議会等各种団体の中心的メンバーとなる方に対し地区マスタープランの概要説明等を行った。

○講演:まちづくり構想実行委員会の立上げについて

*講師による地区マスタープラン策定までのまちづくり構想の取り組みや実行委員会の組織のあり方等について講演を行った。

その後、実行委員会の立ち上げ及び優先して取り組むべき事項を決め、取り組む事項ごとのメンバー選定を来年度に行うことなどを決めた。

3. 事業費実績 30千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
まちづくり構想支援事業	報償費	30,000	講師報償費
合計		30,000	

4. 効果 指標

指標	目標	実績(見込)
参加者数	延120人	14人
(6回想定)	(1回20人)	

5. 今後の展開(継続する場合はその必要性)

市の地区マスタープラン策定まであと2、3年かかるため、まちづくり構想実行委員会により先行実施できる事項を開始し、地区マスタープランの意見提出もあわせて行えるよう、都度、適切な講師を願いし、活動を促進していく。

(別添写真)



令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 小山田

地区内 No 1 事業名 まちづくり構想の具体化に向けた支援

1. 課題と方策

H30 年度に構想の実現を目的として設立した「小山田地区まちづくり推進委員会」が効果的に事業に取り組めるよう、構想策定を支援した専門家へコンサル業務を委託する

「小山田地区まちづくり構想における位置づけ」
第 4 章 1. 推進体制 2. 意識の共有と共同によるまちづくり

2. 実施内容

実施状況 実施 中止→ コロナ/その他
実施方法（委託の場合は委託先） 直営 委託（(一財)地域活性化センター）

「小山田地区まちづくり推進委員会」及び「小山田地区連合自治会」と「まちづくり構想」の具体化を進めるための協議を経て、現状の課題を感覚的なものでなくより科学的な根拠に基づいて進めるべきであるということと地域住民が地域の現状および将来の危機感をよりリアルに共有が図られるよう、「人口推計」をまず行うこととなった。推計にあたっては、本市と協定を結ぶ「一般財団法人地域活性化センター」に委託を行った。

また、令和 3 年 2 月 26 日には、中間報告として、「まちづくり推進委員会」の前段の時間を活用し、コロナ対策として ZOOM を活用して同財団（東京）と地区市民センターを繋ぎ、人口推計について財団から直接住民に解説するとともに意見交換を行った。

住民からは、「今回のデータを活用し、財団が持つ専門知識を当地域のまちづくりに是非、活用してほしい」という声もあった。

来年度は、地域資源と今回のデータを照らし合わせて、どのような年齢層にどういったアプローチをすれば、地域がより活性化するか検討を図っていきたい。

3. 事業費実績

270,000 千円

金額単位:円

事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
人口推計業務	委託料	270,000	委託先: (一財)地域活性化センター
合 計		270,000	

4. 効果

指標 管理表の星の数 3 個増

指標	目標	実績(見込)
星の数	3 個増	停滞(0)

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

来年度は、今回の調査結果を基に効果的な活性化策について検討・実施する取り組みへと進めたい



まちづくり委員会前段の一般財団法人 地域活性化センター(東京)による中間報告会<ZOOM>

令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 川島

地区内 No	1	事業名	地域資源を活用した魅力あるまちづくり、ひとつづくり推進事業
--------	---	-----	-------------------------------

1. 課題と方策

川島地区は東から西に向けて緩やかに標高が上がる地形で、その西部方面に位置する大門山とその周辺には山林や竹林が広がり、また東西にわたって流れる鹿化川沿いにはシデコブシ群落や「千本桜」とよばれる桜並木が存在するなど、地域住民が誇りとする豊かで潤いのある自然環境が形成されている。

地域を特徴づけるこれらの資源は、近年まで地域住民のボランティア活動により維持されてきたが、今後その保全が継続的に行われるよう、新たな担い手を発掘し育成する必要がある。

その方策として、里山整備活動への参加機会を提供し、その活動をきっかけに関心を呼び起こすとともに活動機運を高め、郷土愛の醸成を図りながら今後の保全活動意欲促進につなげられるよう支援する。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法 (委託の場合は委託先)	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (東海物産㈱、三栄造園)

<地域資源保全活動支援>

1 里山の整備活動支援 (実施日: 令和 2 年 12 月 5 日 (土))
大門山周辺の里山整備に参加するボランティアを募り、雑木の枝払いや散策路の草刈り、ごみ拾い等を行うなどの整備活動を実施した。(参加者 21 名)

標高 91.2m の大門山山頂までの散策ルートは、所々に草や笹が生い茂っていたり、落葉や落枝が堆積していたりするなどの状態であったが、整備を行った結果、散策のしやすさが格段に向上した。また、頂上付近にあったフラットベンチを更新したため、訪れる人々に憩いの場を更に継続して提供できるようになった。

当日の参加者は小学生 3 人を含めて 21 名で、親子で楽しそうに作業する姿が見られるとともに住民同士の交流も生まれるなど、和やかな雰囲気の中で実施することができ、参加者にも好評であった。

このような里山整備に関心のある参加者の中から、新たな担い手を見つけ出し実際の活動へとつなげていくよう支援していく。

2 桜並木の保全活動支援

(1) 鹿化川千本桜の毎木調査 (実施日: 令和 3 年 1 月 30 日 (土) ~ 2 月 6 日 (土))
樹齢 40 年程といわれる鹿化川の桜は、生育に適した土壌の範囲が狭いことにより樹齢に見合う大きさに成長していないものや、枯枝や腐朽により樹勢の衰えが見られるものが一部に散見されるなど、適正な維持管理が必要と思われる樹木が存在する。このため、地域資源としての桜を守り今後の保全管理に役立てられるよう、樹木匠による毎木調査と診断を実施した。

A 判定から E 判定で示される健全度調査では、71.5% が A 又は B 判定で、28.5% が C 又は D 判定であった (E 判定はなかった)。健全度 D と判定された樹木の中には、きのこが生え腐朽が始まっているものやてんぐ巣病にかかっているもの、中には穿孔性害虫のコスカシバに被害されているものなどがあることが判明した。対策として、大きな腐朽が発生している枝を除去することや樹勢の維持、回復のための肥培管理の実施等が示されており、この調査結果を今後の維持管理に活用していく。

(2) 桜樹木の枯枝等剪定 (実施日: 令和 3 年 2 月 16 日 (火) ~ 2 月 18 日 (木))
腐朽が進んでいる樹木や枯枝、落枝の危険がある樹木及び通行の妨げになっている樹木等の剪定を実施した。きのこやコケが生えている樹木及びてんぐ巣病にかかっている樹木の枝の除去等を含め、剪定は高所での作業を伴うことから、専門の業者に委託して実施した。

3 その他
令和 2 年 7 月 30 日 (木) 開催の川島地区まちづくり協議会役員会において、里山保全や千本桜の保全活動の継続実施に向けての検討が行われた。当該活動は川島地区まちづくり構想に位置づけられていることから、地域住民主体で取り組むことの必要性が確認された。

3. 事業費実績	582千円
----------	-------

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内 訳
里山の整備活動支援	需用費	87,709	縁台、剪定鋏、ハンマー等用具類
	役務費	1,000	ボランティア傷害保険料
	使用料及び賃借料	31,000	仮設トイレ レンタル料
桜並木の保全活動支援	委託料	462,000	鹿化川千本桜毎木調査業務:187,000 鹿化川千本桜剪定業務:275,000
	合計	581,709	

4. 効果	指標	延べ参加者数 50 人	5. 今後の展開 (継続する場合はその必要性)
	指標	目標	実績(見込)
	里山整備活動延べ参加者数	50 人	21 人

千本桜の剪定、施肥をボランティアで実施する「さくらの会」という自主活動グループが令和 3 年 2 月に結成され活動を開始しており、令和 3 年度川島地区まちづくり協議会に事業申請する予定となっていることから、この活動がうまく軌道に乗るよう後押ししていく。また、里山保全に関しては、既存団体の中で活動の領域を里山の維持管理にも広げたり、団体間で協働して実施したりするなどの手法の検討が行われるよう川島地区まちづくり構想推進委員会に提案し、新たな形態での活動可能性について諮っていく。

大門山散策路 里山整備ボランティア活動の様子



桜樹木の枯枝等剪定の様子



鹿化川千本桜 毎木調査報告書



令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 神前

地区内 No	1	事業名	神前あいさつ運動推進事業
--------	---	-----	--------------

1. 課題と方策

令和元年度において、女性活躍推進事業と神前地区魅力PR事業という2つの地域活動費活用事業から、まちづくりにおいては、顔の見える関係づくりが非常に重要であることを改めて認識した。令和2年度は地域コミュニティのさらなる強化のため、コミュニケーションの第一歩となる「あいさつ」を広める運動を、連合自治会主導で全地区あげて実施した。また標語募集などによる啓発キャンペーンを行い、地域住民への浸透を図った。

2. 実施内容

実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（神前地区連合自治会）

（具体的に、いつ、何を、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）
 普段の何気ないふれあいから、気軽に言葉を交わせる間柄を増やし、地区住民のふれあいの輪を拡げていくために、連合自治会を中心に地区内の各団体のほか、小学校など公共機関とも緊密な連携を図りながら、様々な主体の協働により全地区あげて実施した。

1. 神前あいさつ運動

「あいさつ」の「愛」は、「愛情」の「愛」をモットーに、地区内にたくさんの愛情があふれるようにと、毎月11日を「神前あいさつの日」とし、7月から3月にかけて、計9回あいさつ運動を実施した。

2. 啓発キャンペーン

標語を地区内の小学生を対象に募集し、表彰を行うことで住民の認知度の向上を図った。表彰式を各学校で実施し、連会長から賞状等が授与された。また受賞標語をもとに、啓発プレートを作製し、地域内に設置することにより、住民への浸透を図った。

3. センターだよりによる周知

実施予定や実施時の様子を紹介することのほか、「あいさつ運動心温まるエピソード」も連載中。この記事が目にとまり、CTYの取材にもつながった。

以上のような取組により、地域住民同士また住民と各団体との結びつきが強くなり、地域から「地域の絆やコミュニティづくりの促進に大きな成果を得ることが出来た」との評価を得ることが出来た。

3. 事業費実績

494千円

金額単位：円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
あいさつ運動	のぼり作成費	194,029	のぼり、タスキ等
啓発キャンペーン	標語関連経費	33,960	賞状、標語記念品、参加者賞
	パネル作製費	250,000	標語啓発パネル作製
	消耗品費	15,911	封筒、印刷用紙等
合計		493,900	【委託料】

4. 効果

指標

指標	目標	実績(見込)
地区内一斉実施	2回	9回
啓発標語応募者	80人	92人

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

事業自体は、令和3年度以降も継続して実施していく予定である。経費については、必要に応じ総合事業費補助金などで対応していく。引き続き、自発的に地域活動を担う人材が生まれる土壌づくりを行っていく。

神前地区あいさつ運動推進事業 別紙

1. 神前あいさつ運動

「あいさつ」の「愛」は、「愛情」の「愛」をモットーに、毎月11日を「神前あいさつの日」とし、7月から3月にかけて計9回あいさつ運動を実施した。



2. 啓発キャンペーン

標語を地区内の小学生を対象に募集し、表彰を行うことで住民の認知度の向上を図った。表彰式を各学校で実施し、連会長から賞状等が授与された。また、受賞標語をもとに啓発プレートを作製し、地域内に設置することにより、住民への浸透を図った。



3. センターだよりによる周知

実施予定や実施時の様子を紹介することのほか、「あいさつ運動心温まるエピソード」も連載中。この記事が目にとまり、CTYの取材にもつながった。



《CTY取材の様子》



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 神前

地区内 No	2	事業名	神前地区女性活躍推進事業
--------	---	-----	--------------

1. 課題と方策

女性活躍推進を後押しすることにより、地域活動に積極的に参加する人材の発掘、育成を行うことを目的に、神前女性防災の会「アイリス」を中心に支援を行ってきた。本年度はコロナ禍のなかでも出来ることは何かと考え、地域の高齢者向けにマスクを製作し、女性のための防災訓練や防災研修などを開催したほか視察研修を実施した。また今後の地域活動の活性化のためには特に重要な世代となる子育て世代の地域活動への参加のきっかけづくりとなるような取組みも行った。

2. 実施内容	実施状況	■実施 □中止→ □コロナ/□その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	□直営 ■委託（神前地区連合自治会）

1. 手作りマスク配布事業

コロナ禍におけるマスク不足の折、布マスクを手作りし、民生委員を通じ、一人暮らしの高齢者を対象に2枚ずつ配布した。（5月1日付中日新聞北勢版で紹介される。）

2. 出前研修

8月22日（土） 美里ヶ丘集会所 参加者24人
ノウハウを地域内に広めるため、手作りマスクの作製などの研修を自治会集会所で実施した。

3. 女性のための防災訓練

9月19日（土）神前小学校体育館 参加者34人
コロナ禍における避難所設置と運営を中心に実施し、災害対策と感染症拡大防止への意識を高めた。

4. 防災視察研修

11月11日（水）伊勢市防災センター、大紀町津波避難タワー 参加者30人
大地震発生後の津波災害に重点を置いた地域を視察し、差し迫った災害対策への意識の向上を図った。

5. 子育て世代の意識調査アンケート

2月 神前小、神前幼、神前保、三重西小、三重西幼の神前地区の保護者 262人対象に実施
防災意識の啓発も兼ねた意識調査アンケートにより、子育て世代への浸透を図った。

6. 女性のための防災研修

3月13日（土）神前地区市民センター会議室 参加者24人
家具の固定、ガラス等の飛散防止対策の講義と実技を実施し、家庭における防災への取組につなげた。

3. 事業費実績	495千円
----------	-------

金額単位:円

事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
女性のための防災訓練	訓練経費	54,545	訓練用消耗品等
女性のための防災研修	研修経費	91,608	家具固定器具等
意識調査アンケート	アンケート経費	162,272	啓発グッズ等
防災視察研修	交通費	92,719	バス借上げ
アイリス活動用消耗品	消耗品費	93,856	ベスト、事務用品等
合計		495,000	【委託料】

4. 効果

指標

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)	引き続き積極的な活動継続が見込まれるが、地域活動費の活用は、本年度を一つの区切と考えている。活動にかかる経費については、総合事業費補助金などで対応していく。
イベント参加者数	100人	120人	
アンケート回収率	70%	75%	

令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	桜
-----	---

地区内 No	1	事業名	環境整備事業
--------	---	-----	--------

1. 課題と方策			
<p>桜地区では地域団体が環境整備活動（こども広場の除草など）を行い地域に貢献されているが、高齢化等により徐々に活動継続が困難になりつつある。 そのため、活動に必要な資機材を支援することにより、活動の効率化・省力化及び安全性を確保し、活動の継続性を高める。</p>			
2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナノ <input type="checkbox"/> その他	
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託（ ）	
<p>下記の活動に対し、刈払機・替刃・防振グローブなどの資機材、反射ベスト・作業中看板・コーンなどを導入し、資機材不足・安全確保の支援を行った。 「桜台緑の会」は桜台の自治会役員の〇B等21名で結成された団体で、公会所や子ども広場の除草や剪定を実施しており、今年度は、8回・延べ76名が活動した。 「草刈りの会（ボランティアの会）」は桜台緑区内の有志12名で構成されており、自治会内の公共場所や通学路付近の除草・枝払いを実施しており、今年度は12回・延べ69名が活動した。 高齢化の進行・地域のつながりが希薄化するなど活動継続が困難になりつつあるが、活動に必要な資機材を支援することにより、活動の効率化・省力化及び安全性を確保した。また、これらの団体が活動することにより、地域住民全体の環境整備に寄与した。</p>			
3. 事業費実績		81千円	
金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
環境整備事業	消耗品費	81,360	刈払機・替刃・防振グローブ、反射ベスト・作業中看板・コーン等
合計		81,360	
4. 効果	指標	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）	
指標	目標	実績(見込)	
作業回数	8回以上	20回	
<p>活動の安定継続のため3か年を限度とした支援を継続し、その後は総合事業費などを活用しながら自主的な事業としてもらう</p>			

「桜台緑の会」の皆さん



作業の様子



「草刈りの会（ボランティアの会）」の皆さん



作業の様子



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	桜
-----	---

地区内 No	3	事業名	郷土の歴史再認識事業
--------	---	-----	------------

1. 課題と方策
 桜地区社会づくり協議会（旧地域社会づくり推進委員会）が郷土史研究会の協力を得て、地区の史跡各所に説明看板が設置されているが、経年劣化により損傷したり、文字が読みづらくなったりしている。そのため、今回この説明看板を更新し、地区社会福祉協議会が毎年実施している史跡めぐり活動に寄与するとともに、地域住民に郷土の歴史を再認識してもらい、地区内外からの誘客につなげる一助とする。

2. 実施内容

実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（看板いとう）

12月初旬、桜地区郷土史研究会の方に同行してもらい、地区内の史跡説明板20枚全ての状況を現地で確認し、説明板（文字・台板）、支柱（塗装・錆）の評価を5段階で評価した。
 そのうち、洗浄や周囲の枝払いを実施しても修繕が必要な史跡説明板6枚について、今回、看板業者に委託し再生工事を行うこととした。
 委託を行うにあたり、事前に郷土史研究会の方に文章の再推敲を依頼し、市民センターとしても意見を述べた。また、業者からの校正、説明板の脱着や業者の修繕の立会いに際しても郷土史研究会の協力を得た。説明板の脱着に際しては、桜地区社会づくり協議会から工具を借りたり、グリスを提供してもらったり等の協力を得た。
 来年度の桜地区社会福祉協議会主催の「郷土・桜地区史跡めぐり ウォーキング」の際は、再生された説明板を見ることができ、また、地区内外からの来訪者の史跡への理解が深まるものと思われる。

3. 事業費実績 100千円

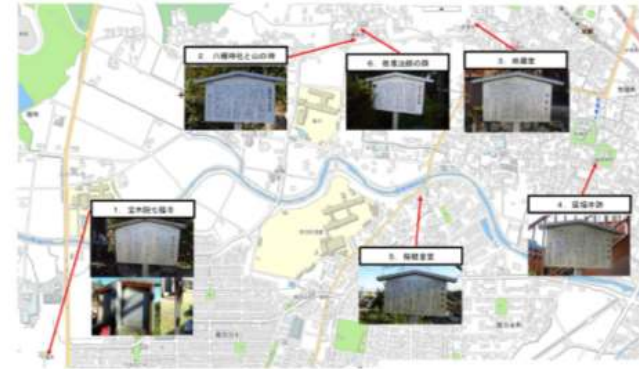
金額単位：円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
郷土の歴史再認識事業	委託料	100,100	説明板再生6枚 支柱修繕1本
合計		100,100	

4. 効果

指標	目標	実績(見込)
スタッフ	5名	4名

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）
 今回の支援で史跡説明看板の再生が実施できた。今後、活動が必要であれば、本市における他の制度などを活用しながら自主的な事業としてもらう。

位置図と写真



再生前



再生後



令和2年度地域活動費事業【実施報告書】

地区名 県

別紙添付資料

地区内 No	1	事業名	あがた竹灯り
--------	---	-----	--------

1. 課題と方策			
地域里山の竹への関心が十分とは言えず、地域資源の活用が十分になされていない。 里山の竹を活用した竹灯籠づくりや竹灯り行事で、地域里山の竹や里山への関心・愛着の醸成を図る。			
2. 実施内容	実施状況	■実施 □中止→ □コロナ/□その他	
	実施方法（委託の場合は委託先）	■直営 □委託（ ）	
<p>連合自治会長や地域活動費事業を契機に誕生した住民のガーデン愛好グループ等の協力を得て以下の行事を実施し、地域里山の竹や産地への関心・愛着の醸成を図った。 事業は、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で実施した。</p> <p>(1) 竹灯籠教室（6月5日～6月9日） 地域の華道師範・庭師資格者の協力も得て、地域里山の竹を使った地域住民向けの竹灯籠教室を実施した。</p> <p>(2) あがた竹灯り（10月2日） 竹灯籠教室で作成した竹を屋外に展示し、移動天文車の天文観測と併せて秋の夜長を楽しむ竹灯り行事を実施した。 高齢者から子ども連れ家族まで幅広い参加を得て、地域住民の交流と地域里山の竹への関心・愛着の醸成を図った。</p>			
3. 事業費実績			80千円
金額単位:円			
事業項目(種目)		支出科目	支出金額
あがた竹灯り		講師報償費	46,000
		消耗品費	33,570
合計			79,570
4. 効果		指標	参加者数
指標	目標	実績(見込)	
参加者数	80人	72人	
5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）			
地域活動費は今回が最終年となるので、地域里山の竹や里山への関心・愛着醸成について、地域行事等で実現していけるように図っていく。			

(1) 竹灯籠教室



(2) あがた竹灯り



令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	県
-----	---

地区内 No	2	事業名	竹谷川桜並木の地域保全活動への樹勢回復支援による魅力アップ
--------	---	-----	-------------------------------

1. 課題と方策			
<p>・最大の観光資源である竹谷川の桜並木は樹齢 40 年近くになり、樹木医による桜並木の全木診断から継続的な土壌改良・施肥や伐採・剪定等が長寿命化に必要なとの診断が出ている。</p> <p>・診断結果に基づく土壌改良・施肥・枝伐採等により地域の保全活動への樹勢回復支援を行う。その一環として、県小学校生の授業 1 時間の中で、地域保全活動団体「竹谷川の蛍と桜を守る会」代表による竹谷川桜並木の歴史講義に続き、一緒に土壌改良・施肥を体験してもらう</p>			
2. 実施内容	実施状況	■実施 □中止→ □コロナ/□その他	
	実施方法（委託の場合は委託先）	■直営 ■委託（樹木医・造園業者）	
<p>令和元年度地域活動費で実施した樹木医による桜並木の全木診断結果に基づき、以下の事業を行った。</p> <p>(1) 竹谷川桜並木の地域保全活動への樹勢回復支援事業 地域が大切に育んできた経緯があることから、全て樹木医指導の下で委託事業として実施した。</p> <p>① 樹勢回復のための土壌改良・施肥（令和 3 年 3 月） ② 樹勢回復のための枝伐採・剪定（令和 3 年 3 月） ③ 小学生による土壌改良・施肥体験学習（令和 3 年 3 月） 地域の将来を担う小学生（4 年生）に、竹谷川桜並木が地域団体を中心とした地域の方々によって守られていることを、講義と土壌改良・施肥体験を通じて実感してもらい、郷土の竹谷川と桜への意識を持った人材育成につなげた。</p> <p>(2) 地域保全活動団体の支援 地域保全活動団体の保全活動に対して草刈り刃・手袋等資材等の支援を行った。</p>			
3. 事業費実績		1, 436 千円	
金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
竹谷川桜並木の地域保全活動への樹勢回復支援による魅力アップ	その他委託料	1,375,000	竹谷川桜並木の地域保全活動への樹勢回復支援事業
地域保全活動団体の支援	消耗品	6,064	草刈り刃 798 円×64 枚、チェーンソー 2,580 円×1 組、手袋 6,724 円(33 組)、回覧・チラシ用 PPC 用紙 268 円×1 冊
	合計	1,435,644	
4. 効果		指標	参加者数
指標	目標	実績(見込)	
参加者数	90 人	250 人	
		5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）	
館長権限予算事業としては終了するため、樹木診断に基づき実施した一連の地域保全活動への樹勢回復支援が、今後も生かされていくよう継続的に支援していく。			

樹勢回復のための土壌改良・施肥・枝伐採・剪定



小学生による土壌改良・施肥体験学習



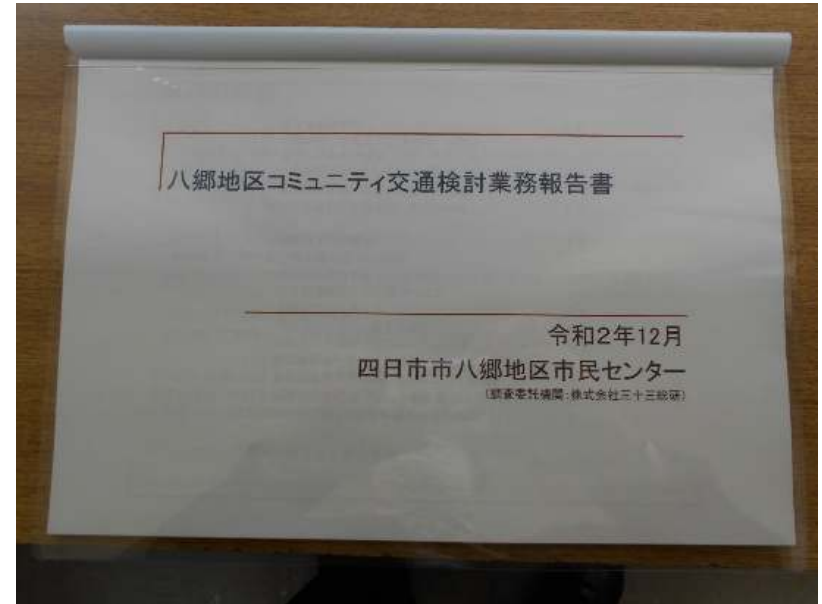
令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 八郷

○成果品について

地区内 No	1	事業名	八郷地区コミュニティ交通検討事業【継続：3年目】
--------	---	-----	--------------------------

1. 課題と方策				
<p>少子高齢化が進む中、世代間や地域間のつながりが次第に希薄化してきている中、世代を越えて交流し、ふれあいのある安心して暮らせるまちづくりを実現することが求められる。そこで、八郷地区への新たな移動手段の導入に向けての検討を行う。</p>				
2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他		
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（㈱三十三総研）		
<p>誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまちの実現に向け、地区住民や地元関係者が参画して運営する持続可能な公共交通手段（コミュニティバスなど）の導入について、令和元年度に発足した「八郷地区コミュニティ交通導入検討委員会」（以下、「検討委員会」と表記）が中核となり研究、検討を行うための八郷地区の将来像及びに各種公共交通の分析と八郷地区への導入可能性調査を行った。</p> <p>八郷地区の将来の人口推計、高齢化の進展について分析をした結果、市内他地区に比べ、高齢化のスピードが速く、かつ高齢者の割合が高い地区であることが明らかになった。</p> <p>一方で、移動手段についてもデマンド型交通から超小型モビリティまで様々な手段の検討を行った。その上で、過去2年間に行ったアンケートの結果をも踏まえ、当地区に導入可能性のある手段は何かの検討を行い、結果、「コミュニティバス」、「デマンド交通」、「グリーンスローモビリティ」について、検討の余地がある結論となった。</p> <p>今年度の事業により、当地区への将来の公共交通の導入に向けた、基礎的な分析は完了したことから、当初の目標を達成することができた。</p>				
3. 事業費実績		497 千円		
金額単位：円				
事業項目(種目)		支出科目	支出金額	内訳
八郷地区コミュニティ交通検討事業		委託料	496,320	八郷地区コミュニティ交通検討業務委託:496,320
合計				
4. 効果		指標	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）	
指標	目標	実績(見込)	<p>今後は、昨年度発足した「八郷地区コミュニティ交通導入検討委員会」に分析結果を示し、地区住民の中で志ある者が主体となって、中長期的な視点で地区内のコミュニティ交通手段の導入について研究・検討を行っていく。</p>	
八郷地区コミュニティ交通の検討	分析の実施	分析の完了		



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 八郷

地区内No	2	事業名	コロナ禍に対応した避難所運営訓練の実施
-------	---	-----	---------------------

1. 課題と方策

八郷地区は、中山間地域を宅地化したところも多く、また朝明川が地域を横断していることなど、その地形上の特徴から、地区内に多くの急傾斜地危険場所が存在することから、地域住民の強い絆に基づく「共助」により、災害への備えができるまちづくりを推進することが求められる。そこで、コロナ禍においても、円滑な避難所運営が課題となる。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託（ ）

八郷地区は、中山間地域を宅地化したところが多く、また朝明川が地域を横断しているなど、その地形上の特徴から、地区内に多くの急傾斜地危険場所が存在する。昨年令和元年9月には、大雨による浸水被害があり、萱生町で、床上浸水4件、床下浸水2件の被害が発生している。また、昨年9月11日の大雨警報発令時には、八郷地区及び隣接の下野地区に土砂災害の危険が高まったとして、一時「避難準備・高齢者等避難開始」の発令が検討されている。

『八郷地区まちづくり構想』においても、「災害の備えができていくまち」として項目を設け、「災害から各家庭、個人が自らを守る「自助」を基本に、地域で共に活動して自分たちを守る「共助」と、住民、企業、防災機関・市が協力して活動する「協働」により、災害の備えができるまちづくりを推進します。」と規定し、地域防災力の向上をまちづくりの柱のひとつとしている。

上記の背景を踏まえ、危機管理室より示されている、災害時の避難所の運営に関する指針、『新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた避難所運営ガイドライン』に基づいた避難所開設運営の訓練を実施し、地域の防災関係者にコロナ禍における避難所の姿を示し、そのイメージの共有を図り、災害時の避難所設営の円滑化を図った。

令和3年2月21日八郷小学校体育館において、八郷地区防災協議会主催による避難所の設営及び運営の訓練を行った。

実際に地域住民による設営・運営訓練をしたことにより、避難所の姿、人の動きなどを実際に目にする事ができた。その結果、コロナ禍における避難所のあり様を地域住民が具体的にイメージすることができた。また、設営、運営上の課題点を見出すことができた。

3. 事業費実績 404千円

			金額単位:円
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
コロナ禍に対応した避難所運営訓練の実施	消耗品費	93,334	ビブス:72,600 カラーコーン:15,344 養生シート他:5,390
	備品購入費	309,870	段ボールパーティション:117,150 パーティションテント:192,720
合計		403,204	

4. 効果 指標

指標	目標	実績(見込)
コロナ禍に対応した避難所運営訓練の実施	防災訓練の実施	防災訓練の実施

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

今後は、八郷西小学校においても、同様の訓練を行い、地域住民にコロナ禍における避難所の姿を示していく。今般の訓練の実施により、コロナ禍における避難所のあり様を示すパイロットとしての役割を八郷地区が果たすことが可能となった。そこで、今後、市内各地区に館長会や地区防災連絡協議会などを通じ、備品等を貸し出し、防災訓練などへの活用を図っていく。これにより全市的にコロナ禍における避難所の姿を共有することが可

能となる。
重ねて、防災訓練実施後も市民センターに避難所の姿を展示する日を設けることにより、防災関係者以外の市民にもコロナ禍における避難所の姿を示し、防災意識の醸成を図る。

○避難所運営訓練の開催

日時：令和3年2月16日（日） 午後12時～
場所：八郷小学校 体育館
参加者：前日準備24名 当日62名

【訓練の様子】



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 下野

地区内 No	1	事業名	楽しく学ぶ防災キャラバン
--------	---	-----	--------------

1. 課題と方策

子ども自身が年長者と関わりながら地区の防災について学ぶことで、自身の防災意識の向上、世代間交流の促進、次世代後継者としての意識醸成・育成、地区全体の防災意識の向上を図る。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/□その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（下野地区連合自治会）

昨年度は夏休み期間中の8月に小学校体育館、地区市民センターを会場に1泊2日の宿泊体験型防災学習を実施したが、今年度はコロナ過の影響で小学校のなかでも特に防災教育に力を入れて点を置く4年生を対象に絞り、昨年と同じ講師を招き昨年の内容を継続させ、地区防災協議会および地区青少年育成委員会の役員も指導に当たって感染防止対策に配慮した形で実施した。

- ・日時 令和2年11月16日（月）
- ・場所 下野小学校体育館
- ・講師 減災環境デザイン室 室崎友輔代表
下野地区防災協議会 斎藤会長 下野地区青少年育成委員会 野呂会長
- ・内容
地区の防災や災害時に備えての考え方や準備、実際に災害が起きた場合の実際の対応について学習し、自身を守ることの大切さと防災意識の向上をはかった。
《プログラム》
 (1) オリエンテーション・防災体操・自然災害について・防災クイズ
 (2) ローワーク
 (3) ダンボール間仕切り・スツールづくり
 (4) 紙食器づくり

3. 事業費実績 120千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
楽しく学ぶ防災キャラバン	委託料	120,000	段ボール、ロープ等教材
			コロナウイルス感染症対策
			講師謝礼・交通費
			事務費
合計		120,000	

4. 効果 指標

指標	目標	実績(見込)
参加者	30名	78名

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

西朝明中学校における地域と協働した防災訓練と相まって地域防災意識向上と担い手育成面からも有用であり、児童生徒も希望している。
さらに地域行事としての定着に向け継続した働きかけを行っていきたい。



令和2年度地域活動費事業【実施報告書】

地区名 下野

地区内No 2 事業名 朝明川散歩道サイン看板の設置

1. 課題と方策

桜並木があるなど地区住民の散策の場所として親しまれ、多くの住民から地区を代表する資源と考えられている朝明川周辺について、住民に改めて目を向けてもらい、将来に向けた河川空間活用を図る契機とする。

(下野地区まちづくり構想における策定事項)

2. 実施内容

実施状況

実施 中止→ コロナノその他

実施方法（委託の場合は委託先）

直営 委託（下野地区まちづくり委員会）

地区住民の散策の場所としても親しまれている朝明川左岸堤防道路の下野橋付近（上流）～新小角橋西付近（下流）の区間に、起点からの距離等を目安に示したサイン看板を設置した。

なお、看板作成にあたっては通学路として慣れ親しんでいる西朝明中学校生徒に依頼し、考案されたデザインを用いて、地域意識の醸成につなげていきたい。

- ・設置箇所：6箇所
- ・生徒から提案されたデザイン案から6点を採用、アルミ複合板を用いたサイン看板を堤防道路に設置。

3. 事業費実績

200千円

金額単位：円

事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
朝明川散歩道サイン看板設置	委託料	200,000	サイン看板・基礎作成設置
合計			

4. 効果

指標

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)
中学生の地域事業への参画	同左	実現
主要箇所への設置数	5箇所	6箇所

令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 下野

地区内 No	3	事業名	地区内公共施設等への地区マップの設置
--------	---	-----	--------------------

1. 課題と方策

昨年度作成した「下野マップ」を看板の形にし、三岐鉄道山城駅ほか地区内施設等に設置して地区住民や来訪者に対して掲示・案内を行う。

2. 実施内容

実施状況 実施 中止→ コロナ/その他
 実施方法（委託の場合は委託先） 直営 委託（下野地区まちづくり委員会）

看板の形にした「下野マップ」を下野地区市民センター正門付近および三岐鉄道山城駅構内に設置し、来訪者や駅利用者へ地区内の史跡、主要施設等を案内するとともに地区のPRを行った。
 駅利用者のみならず、センター設置分についてはセンター利用者はもとより、保育園、幼稚園、小学校への送り迎えで保護者や児童も頻繁に通行して目に留めていただけ、住民にとって身近な地域の見直しにつながるのではないかと考えている。
 また、昨年作成・配布した地図は学校等でも活用されていることから、改めて保育園・幼稚園・小学校・中学校にも設置し、児童生徒をはじめ保護者にもご覧いただけるようにした。

3. 事業費実績 323千円

事業項目(種目)			金額単位:円	
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳	
公共施設等への地区マップ設置	委託料	322,300	看板作成費、設置費	
合計				

4. 効果

指標	目標	実績(見込)
山城駅への設置	山城駅・地区市民センター	駅構内センター門横
地区内公共施設への設置	保育・教育施設	5箇所

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

今後もこのマップを活用した住民の意識向上に取り組んでいきたい。



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 大矢知

地区内No 1 事業名 身近な交流の場づくり

1. 課題と方策

大矢知地区では、宅地開発により若年層の人口増加が顕著であり、人と人との繋がりが希薄となり、世代間のコミュニティが弱体化してきている。今回、地産材料を使った料理教室（今年度より）、親子料理教室を開催し、地元愛の発掘、新しい人と人の繋がるの場を提供する。

2. 実施内容

実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 一部実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部中止→ <input checked="" type="checkbox"/> コロナ/□その他
実施方法（委託の場合は委託先）	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託（ ）

- ・地区市民センター調理室において、親子料理教室を開催した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、調理のみ。作成した料理は自宅に持ち帰って食することを前提としたメニューとした。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、新しい人と人の繋がるの場を提供できた。

- ・地産材料を使った料理教室は、大矢知種を設定していたため、持ち帰りが難したため、開催中止。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、館内飲食禁止期間があった為。

3. 事業費実績

27千円

金額単位:円

事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
親子料理教室	講師報奨金	12,000	7/18、12/13、3/6
親子料理教室	需用費	14,684	上記講座材料費
合計		26,684	

4. 効果 指標 参加者延べ 36名

指標	目標	実績(見込)
参加人数(調理室制限人数)	36名	36名

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

継続することにより、ロコミによる親子の世代間交流以外の親同士、子ども同士の、新しい人と人の繋がりが発生する場として、必要。

今年度は実施できなかったが、地産地商、地元愛を、より育む為にも、地元食材を使う料理教室も、必要。

7月18日（フルーツどら焼き）



12月13日（さつまい芋のスコープケーキ）



3月6日（肉まん）



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 大矢知

地区内No 2 事業名 朝明川自然学習

1. 課題と方策

大矢知地区では、農地や市街化山林を中心に、開発等により、自然環境が変化しており、また、新しい宅地開発や若者世帯向けのマンション、アパートの増加で、若年層の人口増加が顕著である。幼少期からはぐまれる地元愛（地元自然とのふれあい）が少なくなっていくなか、生き物観察会を開催することによって、現在の朝明川に生息する生き物を通じ、大矢知の自然を知ってもらおう。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託（ ）

（具体的に、いつ、何をして、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）
 8月2日、朝明川河川敷及び河川内において、朝明川に生息する生き物を観察し、朝明川の自然について、講師から話を聞き、自分達の生活域を流れる朝明川の自然を学び、自分達の身近を流れる朝明川の自然が、いかに大切かも、感じ取った。

3. 事業費実績 29千円

事業項目(種目)		支出科目	支出金額	金額単位:円 内訳
朝明川自然学習(生き物観察会)		講師謝礼金	20,000	東海タナゴ研究会代表
朝明川自然学習(生き物観察会)		需用費	8,250	フェイスシールド

4. 効果 指標 参加人数24名

指標	目標	実績(見込)
参加人数	30名	24名

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

今自分の置かれている自然に対し、それぞれの学年に応じた自然環境に対する掘り下げ考察を行い、継続参加することにより、自然の変化も、感じとる。



令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 河原田

地区内 No	1	事業名	河原田地区の歴史・文化を次世代に伝える事業 ～①住民による手づくり活動～
--------	---	-----	---

1. 課題と方策

地域活動への参加者が固定化する傾向が見受けられることから、幅広い世代の参加を促していくことが課題である。

課題解決のためのひとつの試みとして、特に男性高齢者層の興味、関心が高いと考えられる「地域の歴史・文化」にスポットをあてた取り組みを契機として地域交流の促進を図り、その成果として郷土史研究会等の活動団体立上げにつなげる。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（河原田地区まちづくり推進協議会）

郷土史研究会等団体の立上げに向けて、地域の歴史への関心を高めるため、「歴史講座」を開催した。また、継続事業として、みかん山整備の一環として位置付けた「竹あかり製作と点灯展示」を行った。さらに、地域における名所旧跡の情報発信のため、「伊勢街道案内版リニューアル」「伊勢街道構成事物紹介看板設置」等を行う中で世代間交流の推進を行った。

- ・歴史講座
11月より月1回、河原田地区の歴史に関する講座を開催。全5回（目標参加者150名）の予定のところ、コロナの影響で講師が来四できず1回は中止になったが、のべ155名の参加を得た。郷土資料館整備主体である「河原田の歴史を次世代に伝える活動」につなげることができた。
- ・竹あかり製作・展示
竹の伐りだしから加工、竹あかり製作、展示まで、地域住民に参加を呼びかけ実施。11/27,12/3、竹あかり製作（竹にドリルで穴を開け、電球をセットする）を、地域住民7名と小学校児童29名が参加し、約40基の竹あかりを製作。小学生の製作時には、地域住民が指導者として参加し、世代間交流が行われた。
- ・伊勢街道案内版リニューアル
昨年度、河原田小学校の協力を得て作成した同案内板が劣化したため、素材を対候性に優れたものに変えてリニューアルした。今回の作画も小学校の協力を得て行い、展示は小学生と河原田の歴史を次世代に伝える活動のメンバーが協力して実施した。

3. 事業費実績 553,425円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
歴史講座	委託費	133,909	報償費、印刷製本費、消耗品費
竹あかり、伊勢街道案内板	委託費	419,516	消耗品費、委託費
合計		553,425	

4. 効果 指標 参加者数のべ300名 5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)
参加者数	300	230

歴史講座については、歴史を伝える活動の中で、形を変えて継続する。
竹あかりはコロナのため中止した点灯イベントを含め、地域行事として定着するよう委員会形式の組織を立ち上げ、後継者の育成を行う。
伊勢街道の景観整備（構成事物紹介看板設置）は今年度試行として1か所設置したので、整備箇所を増やしていく。



歴史講座（第1回）の様子



歴史講座（第2回）



歴史講座（第3回）



歴史講座（第5回）



竹あかりづくり（一般）



竹あかりづくり（小学校）



伊勢街道案内板設置作業



竹あかり点灯

令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 河原田

地区内 No	2	事業名	河原田地区の歴史・文化を次世代に伝える事業 ～②空き家活用による交流拠点づくり～
--------	---	-----	---

1. 課題と方策

「地域の歴史・文化」にスポットをあてた活動を進めていくにあたり、取り組みの拠点となる「場」を確保していく必要がある。そこで、地区内において目立ちはじめた「空き家」を活用し、活動の拠点として整備することとし、住民が主体となってこの整備作業を行う過程自体を「まちづくり」活動の一環として支援を行う。住民の出合作業をはじめ幅広い年齢層による拠点の利活用に向けた取り組みを進めることで地域交流を広げていく。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（河原田地区まちづくり推進協議会）

河原田地区まちづくり推進協議会が、かねてから空き家であった旧河原田神社宮司邸の相続人と借家契約を交わし、9月ごろより建物の清掃、修理、敷地の片づけ、ゴミ出し、買い出し、網戸張り替えや照明器具の取り換え、エアコン設置、展示用ガラスケース等の譲渡受取り、展示台の作成等の作業を地元有志の方を中心に開始した。

これと並行する形で、まちづくり推進協議会内にて「河原田の歴史を次世代に伝える活動」が開始され、地域の古文書や書籍、古道具などの収集、調査を行いつつ、整備作業の主体も担う形になった。施設は、「ふるさとサロンかわらだ」の名称で令和3年4月より一般利用を開始するところまで整備が進められているが、整備作業は現在も継続中である。

「ふるさとサロンかわらだ」は、郷土資料館としての機能を有しながら、介護予防施設（生活支援サービス事業・通所型サービスB）としての機能も備え、定期的に「歴史カフェ」を開設し、地域の新たな寄り合いの場、あるいは地域学習の場として引き続き整備を進めていく。

3. 事業費実績 484千円

金額単位：円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
郷土資料館整備	委託費	484,000	消耗品費、食糧費、委託費ほか
合計		484,000	

4. 効果 指標 参加者数のべ 200名

指標	目標	実績(見込)
参加者数	200	集計中

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

郷土資料館の整備作業は、施設の看板設置や収蔵庫の設置等、施設周辺の整備作業を残しており、継続して行う予定である。

施設の本格的な運用開始以降は、歴史を次世代に伝える活動から郷土史研究会としての組織替えの後、継続的な研究、郷土史の編纂事業などソフト面への事業に移行していく。



施設外観（整備前）



施設内観（整備前）



整備作業中



整備作業中



整備後（歴史を次世代に伝える活動会議）



整備後（歴史を次世代に伝える活動会議）



収集資料の整理作業



地区内の史跡探訪

令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 水沢

地区内 No	1	事業名	もみじ谷周辺整備事業
--------	---	-----	------------

1. 課題と方策

四日市の景勝地である水沢もみじ谷は、谷の範囲が狭く散策場所としては小規模なので、谷の周辺整備を地域住民の手で行い、住民の交流と観光客への名所としての魅力向上を図る。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（ ）

水沢への来訪者の魅力を向上するため、12月16日にもみじ谷周辺で地域住民の手でもみじの植樹を行い、もみじの散策路の拡大を図った。

また、2月6日には子供たちを中心に桜の植樹を行い、次世代の保全活動の担い手育成とともに、春にも観光客が楽しめる場所を広げた。

（活動写真 別紙）

3. 事業費実績 784 千円

金額単位：円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
もみじ谷周辺整備事業	委託料	429,000	花苗、ガードネット等
	需用費	355,901	杭、杉板、替え刃等
合計		784,901	

4. 効果 指標 5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)
事業参加者	30人	158人

もみじ谷周辺にもみじや桜などを地域の大人と子供が協力して植樹することで、もみじの季節である秋だけでなく、春の時期の魅力も向上したので、地元住民で管理を続ける。

(別紙)



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	水沢
-----	----

地区内 No	2	事業名	里山保全事業
--------	---	-----	--------

1. 課題と方策

三重県で絶滅危惧種、県指定希少野生動植物種に指定されている貴重植物を守るために保全活動を行う。

2. 実施内容	実施状況	■実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 ■委託（ ）

2月14日に貴重植物であるシデコブシやオオミズゴケなどの生育を阻害する草木の除去や、防獣柵の設置を地域住民の手で行い、身近なところにある里山の自然環境の保全を図った。

(活動写真 別紙)

3. 事業費実績 300 千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
里山保全事業	委託料	300,000	フェンス、扉等
合 計		300,000	

4. 効果 5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)
事業参加者	20人	59人

フェンスの設置により獣害を防ぐことができるので、継続して地元住民で除草作業など管理を続ける。

(別紙)



令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	水沢
-----	----

地区内 No	3	事業名	地域情報発信事業
--------	---	-----	----------

1. 課題と方策

水沢の魅力を PR するため、地区ホームページにリアルタイム画像を掲載して、水沢への来訪者の利便性向上に資する。

2. 実施内容	実施状況	■実施 □中止→ □コロナ/□その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	□直営 ■委託（ ）

令和元年度にはウェブマップ上に史跡、名勝のマーカーをつけ、その説明と写真を掲載したが、令和 2 年度は、12 月にカメラを設置し、リアルタイムの水沢の様子を掲載することで、訪れる前に水沢の景色、特にもみじ谷周辺の状況確認をしやすくし、来訪者の利便性の向上を図った。

3. 事業費実績 543 千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
地域情報発信事業	委託料	165,000	カメラ設置、HP 作業等
	備品購入費	378,290	カメラ、ハードディスク
合計		543,290	

4. 効果 指標 5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)
HP 閲覧数	10%増	56%増

撮り貯めた画像を使い、水沢の風景について四季の移ろいなどを掲載し、PR を続ける。



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 海蔵

地区内 No 2 事業名 つながる「海蔵」事業・・・「花」

1. 課題と方策

- ① 毎年3月から4月にかけて、海蔵川桜まつりが開催されるが、このまつりの企画運営が地域のボランティアで構成される実行委員会が実施されている事実があまり知られておらず、PRを展開する。
- ② ボランティアによる堀川菖蒲園の管理運営や菖蒲園まつりに関わっている人も固定化しており、関心の薄い地域住民も多いため、担い手の確保や技術の伝承を図る。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（地区住民、専門事業者）

（具体的に、いつ、何を、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください）

- ① 海蔵川堤防にある老朽化が進んだ「読めない案内（看板）」を改修した。
令和2年11月、令和3年3月に実施した海蔵川（及び三滝川）の堤防清掃、樹木剪定は、今年、それぞれ第18回、第31回を数える開催で、各回500名近い参加者と一緒桜堤の管理に取り組んだ。樹齢50～60年を迎える「ソメイヨシノ（桜）」は、樹高があるうえ、枯れた幹や枝が下の道路にドサッと落ちる危険な状況にあったため、専門事業者（造園）による伐採を実施し、安全確保を図った。
- ② 菖蒲園（堀川菖蒲園花菖蒲育成会）の活動継続に向けた育成講習会の開催はできなかったが、皆が自身で知識を深めるとともに、メンバー間で育成方法について理解を深めた。今後、作製したPRジャンパーを用いて、活動メンバーの増強を図った。

3. 事業費実績 ー 千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
委託料	その他委託料	600,600	樹木伐採、看板新設等
報償費	講師報償金	0	育成講習会
需用費	消耗品費	235,080	PRジャンパー製作等
合計		835,680	

4. 効果 指標 5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

指標	目標	実績(見込)
-	-	-
-	-	-

本市を代表する『桜の名所』である海蔵川桜堤が、今後も大切に守られ、地域の取組みが継続できるようサポートする。

【桜】第31回「皆できれいに海蔵川の日」海蔵川左岸：樹木剪定及び雑木除去



【菖蒲】堀川菖蒲園での花菖蒲育成会活動状況と「開花の頃」



堀川菖蒲園管理活動の紹介 堀川菖蒲園花菖蒲育成会

菖蒲園の管理活動は、1年を通じて行っています。一番苦勞するのが、除草です。雑草は放置するとすぐに繁殖して来るので、2月から11月まで毎月行っています。そして、時期に合わせて株分け・灌水・施肥・新土づくり・植え付け・害虫防除などを行います。本年度は新型コロナウイルス流行の影響がありましたが、同様の活動を行いました。

苗圃付け作業 → 開花に向けての除草作業 → 開花(6月上旬～中旬) → 開花時期終了後の除草作業 → 株の結葉切り取り作業

施肥作業 → 苗圃付けの準備作業

結露エリアの修繕整地作業

今年度は初めて菖蒲まつりを中止しましたが、多くの方が来園されました。開花期間中は、次の花が咲くように、取り残った花柄をとり除きます。堀川菖蒲園は市制100周年の平成9年6月に開園しました。

花が好きで、仲間と楽しく作業できる方、お気軽にご参加いただき、一緒にきれいな花菖蒲を咲かせましょう。ご参加いただける方は、海蔵地区市民センター地域マネージャー（☎331-3284）へご連絡ください。よろしくお願いいたします。



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 橋北

地区内 No	1	事業名	橋北 BIG BAND で繋がろう！
--------	---	-----	--------------------

1. 課題と方策			
<p>中心部に近い地域であるが、徒歩しか移動手段がない高齢者が多い。また、地域コミュニティの担い手の育成が課題である。</p> <p>こうしたなか、身近な場所で、質の高い文化に触れる機会を通じ、人が繋がり、ワクワクするような地域社会づくりを進めることが、課題解決の一つの契機になりうると考えられ、その一例として、地域住民が普段から音楽を通して「繋がり」を醸成することは、大変意義深い。</p> <p>そこで、住民の音楽活動をサポートし、その成果を披露するとともに、一流の音楽に触れることを目的としたコンサートを開催する。</p>			
2. 実施内容		実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> （一部）中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他 実施方法（委託の場合は委託先） <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（橋北地区文化事業実行委員会）	
（具体的に、いつ、何を、どのような状況・結果（成果）であったのかについて記入ください） ・当初の計画 橋北地区の住民等を対象に BIGBAND コンサートを開催する。また、このコンサートに向けて地域住民が音楽を通じて交流することにより、地域の繋がりを深めるとともに、文化力の向上を目指す。 (1) プロのBIGBANDのコンサート (2) 地区内の「温」合唱団のトレーニングとBIGBANDのコラボ演奏 (3) 橋北中学校音楽部とのコラボ演奏 ・実施内容 (1) 11月1日（日）、新型コロナ感染予防対策を充分に行い、2㎡/人で座席を配置した結果、当初の人数よりも少ない105人の参加となった。しかし地域に身近な中学校での開催であり、80代までの住民が参加し、バンドメンバーも含めての一体感のあるコンサートであった。 (2)(3) コロナ禍により実施できなかった。 ・結果（成果） (1) アンケートでは9割が良かったとの回答であり、地域の一体感醸成のため、継続して欲しいとの意見が多数あった。 (2)(3) 令和3年度は、オンラインでの実施も検討し、地域での人の繋がりを育みたい。			
3. 事業費実績		320千円	
金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内 訳
橋北 BIG BAND で繋がろう！	委託料	320,000	コンサート開催経費
合計		320,000	
効果	指標	参加者 105名	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）
地域の多様な主体が「音楽」というツールを使い交流することで、人の繋がりをはぐくみ、地域活動への理解を深めるとともに、大規模災害発生時に共助の面からの効果が期待できる。		高齢化率が高く、地域から未来の担い手が育まれていかない現状を打破するために、身近な場所で、質の高い文化に触れる機会を通じ、人が繋がり、ワクワクするような地域社会づくりを進めることは大変重要であり、今後も継続していく。	

『橋北ミュージックフェス Big Band コンサート』実施状況

実施日時 令和2年11月1日(日) 13:00~14:30

実施場所 橋北中学校体育館



ムーンライトオーケストラによる渾身の演奏



たくさんの方にご来場いただきました。



楽しく盛り上がる前座バンドの演奏



熱心に鑑賞される森市長



緊張感をもって感染症対策を行いました。

令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	橋北
-----	----

地区内 No	2	事業名	地域で HOKKORI しよう
--------	---	-----	-----------------

1. 課題と方策			
<p>地域に転入又は転居した子育て中の住民が地域社会で安心して暮らし、子育てできる環境を確保することが求められている。 先輩ママの話聞き、生活の知恵を学び保護者の不安を解消するとともに、地域社会との繋がりを持ってもらうきっかけの機会を設定する。</p>			
2. 実施内容	実施状況 ■実施 ■(一部)中止→ ■コロナ/口その他 実施方法 (委託の場合は委託先) ■直営 ■委託 (橋北地区在宅介護支援センター)		
	<p>・当初の計画 地区市民センターで毎月第3水曜日の午前中に子育て中の住民と子育てが終了した住民が集い、ほっとできるような居場所(「HOKKORI」)作りを行う。 また、「食」のプチイベント(食べてHOKKORIしよう!)を実施するなかで「まちかど保健室」の要素も加え、多様な世代の繋がりと心と体の健康の確保を目指す。</p> <p>① 食べて HOKKORI 事業<流しそうめん、焼き芋作り体験> ② 地域財産を活かした料理教室(萬古鍋でおつまみ、土鍋でプリン作りなど) ③ 趣味と実益を兼ねた講座(コーヒーの淹れ方講座、手芸、健康づくり講座など) ④ まちかど保健室で HOKKORI (看護師相談、保健師相談など)</p> <p>・実施内容 ①②コロナ禍により実施できなかった。 ③ 子育て世代や在介の看護師等と打ち合わせを行い、興味が持てる趣味と実益を兼ねた講座を厳選して実施した。 ④ 看護師資格を所有する在介職員が、講座時に日頃の悩みや健康の不安等について相談に乗った。</p> <p>・結果(成果) ①②令和3年度は、コロナ禍でも実施可能なイベントを検討したい。 ③ 5回の講座で61名が参加した。繋がりを深めるとともに新たな人材も発掘し、さらなる発展が期待できる。 ④ イベント時の個別ブースでの開催は出来なかったが、講座中に巡回し悩み事等の相談を実施した。</p>		
3. 事業費実績 258千円			
金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内 訳
地域で HOKKORI しよう	報償費	42,000	講師報償費
	消耗品費	149,750	材料費、飛沫防止パーテーション
	食糧費	1,976	飲料代等
	委託料	65,000	まちかど保健室委託料
合計		258,726	
効果	指標	参加者 61名	5. 今後の展開 (継続する場合はその必要性)
地域の子育て世代と子育て経験者が交わることで地域社会づくりに繋げるとともに地域の在宅介護支援センターとの連携により地域における共生社会の実現への第1歩とする。			地域の子育て世代の参加者による「居場所作り」のきっかけとして進めており、キーパーソンの発掘も進んでいることから、今後も取り組みを継続していく。

[1 固まるハーバリウム講座]
[令和2年8月19日(水)10:00~11:30 2階会議室]
[講師: 諸岡幸子さん(アトリエアリス)、永田奈美さん(ラトゥリエカトリーヌ)]



[2 プリザーブドフラワー講座]
[令和2年9月16日(水)10:00~11:30 2階会議室]
[講師: 諸岡幸子さん(アトリエアリス)、永田奈美さん(ラトゥリエカトリーヌ)]



[3 動物キャラナビ(個性心理学)講座]
[令和2年10月21日(水)10:00~11:30 2階会議室]
[講師: 服部光雄さん]



[4 美味しいコーヒーの淹れ方講座]
[令和2年12月23日(水)10:00~11:30 2階会議室・調理室]
[講師: 渡邊慎悟さん]



[5 ヨガ講座]
[令和3年2月26日(金)10:00~11:00 橋北交流会館 地域活動室]
[講師: 片山志帆さん]



令和 2 年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	中部
-----	----

地区内 No	1	事業名	東海道パワーアップ事業
--------	---	-----	-------------

1. 課題と方策				
<p>中部地区には東海道を始めとする歴史的・文化的・観光的資源が多数存在するが、住民の意識はそれほど高くないと思われる。東海道の存在感をアップすることで地区の魅力を発信し、市内外の観光客に対するおもてなしの心を醸成するためにも、こにゅうどうくんプリントののぼりを作成して、東海道沿線への設置を自治会に依頼する。</p>				
2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナノ <input type="checkbox"/> その他		
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託（ ）		
<p>こにゅうどうくんプリントの「東海道 ここは四日市」のぼりを共同、浜田の2地区あわせて116枚作成し、2地区の沿線自治会にのぼりの設置を依頼した。</p> <p>前年ののぼりとは違う色で作成したところ、周囲の風景に溶け込み過ぎない色であり、前年ののぼりより目立つようになったと好評を得ている。</p>				
3. 事業費実績		109千円		
金額単位:円				
事業項目(種目)		支出科目	支出金額	内訳
東海道のぼり		需用費	99,528	共同地区58枚 浜田地区58枚
のぼりポール、ウェイト		需用費	9,350	
合計			108,878	
4. 効果		指標 東海道の存在感	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）	
指標	目標	実績(見込)	<p>東海道のぼりは屋外に設置するため、紫外線や風雨にさらされ老朽化が早い。今後も継続的に購入、設置していくことが望まれている。</p>	



浜田地区/共同地区



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 楠

地区内No	1	事業名	KUSUNOKO-楠こどもフェスティバル
-------	---	-----	----------------------

1. 課題と方策

最近10年の楠地区の小学校の児童数は半数近くになるほど、急速に少子化が進んでいる。一方、保育園、幼稚園のこども園化に対し、保護者の中で不安が拡大している。こうしたことから、子育て世代から選ばれるまちになるように地域とともに子育て環境の向上を図る。その一つとして、令和3年4月に4つの園が1つのこども園に統合されることに対する保護者の不安を解消するため、幼稚園、保育園を含めた未就学児と保護者を対象とした交流イベントを開催する。

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（ ）

令和2年11月14日楠小学校を利用して楠地区内の未就学児及び保護者を対象に、こども園開園をを見据えた交流イベントを開催することで、保護者の不安解消を図り保護者に対し地域活動への関心を促すと共に、関係団体の連携強化を及び活性化を図ることができた。

- 1 幼稚園児、保育園児による歌唱
- 2 ホルンとフルートによるデュオ演奏
- 3 バルーンアート
- 4 手形アート
- 5 こにゅうどうくん
- 6 移動児童館
- 7 こども園資料及び防災資料展示
- 8 とこわか塗り絵
- 9 地震体験車

3. 事業費実績 242,000千円

金額単位:円		
事業項目(種目)	支出科目	支出金額
楠っ子フェスティバル	委託料	242,000円
合計		242,000円

4. 効果 指標 《参加者》 200名

指標	目標	実績(見込)
200名	200名	195名

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

本年度コロナ禍において十分な活動が実施できなかったため、令和3年4月も引き地域が関わり実施する。

受付風景



バルーンアート



開会式



とこわか塗り絵



各種展示品



会場風景



こにゅうどうくん



手形アート



デュオ演奏



移動児童館



楠北幼稚園



くす南保育園

地震体験車



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名 楠

地区内No 2 事業名 子育て支援カフェ「はぴばれ」

1. 課題と方策

最近10年間の楠地区の小学校の児童数は半数近くになるほど、急速に少子化が進んでいる。また、結婚を機に転入してきた方など、仲間も少なく一人で子育てをすることに不安を感じる保護者の方がおみえになる。こうしたことから、小さなお子様を持つ（予定も含む）保護者たちが集う環境を構築することで、子育てを一緒にできる仲間づくりを促し、地域とともに子育て世代から選ばれるような環境整備を図る。

2. 実施内容

実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（ ）

令和2年未就学児をもつ保護者（予定者含む）が交流できる講座の開催及び会議室の開放等を行った。		
10月7日	おしゃべりカフェ ZOOMの使い方講座	参加者8名
10月16日	子育てママ講座「親子ヨガ」（オンライン併用）	参加者8名（2名）
11月4日	おしゃべりカフェ、写真撮影会	参加者10名
11月14日	楠こどもフェスティバル ブース出展	
11月20日	子育てママ講座「英語絵本の読み聞かせ」（オンライン併用）	参加者8名（2名）
12月2日	おしゃべりカフェ 2021年カレンダー作り	参加者10名
12月18日	子育てママ講座「整理収納の仕組み」（オンライン併用）	参加者7名（1名）
1月22日	子育てママ講座「子供の靴の選び方」	参加者5名
2月19日	子育てママ講座「お絵かきプラ板バックチャーム作り」	参加者10名
2月21日	よかばばフェスティバル ブース出展	
3月3日	おしゃべりカフェ 2021年カレンダー作り	参加者10名
3月7日	ハーモニーにてブース出展	
3月19日	子育てママ講座「パレトン」	参加者10名

また、地域の6団体の紹介広報誌を地区住民に全戸配し自治会加入を促進するとともに、各団体自らが広報誌を作成することで、各団体の役割や位置づけを再確認することができた。

3. 事業費実績

584,760円

金額単位:円

事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
子育て応援広場くすまいる	委託料	451,000円	
	消耗品	89,760円	畳
自治会加入促進事業	消耗品	44,000円	A3用紙 5000枚
合計		584,760円	

4. 効果

指標 《参加者》100名

指標	目標	実績(見込)
100名	100名	86名
4500世帯	4500世帯	4500世帯

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）

本年度コロナ禍において十分な活動が実施できなかったため、令和3年度に開園することも園の子育て支援センターに拠点を移し、来年度も活動にしていく。

活動風景



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	楠
-----	---

地区内 No	3	事業名	まるごとまちごとハザードマップ
--------	---	-----	-----------------

1. 課題と方策

鈴鹿川本線と派川に隣接する楠地区においては、ほとんどの場所が最大で3～5mの浸水が想定されており、レベル4の警報発令時にはほとんどの人が安全な場所に避難する必要がある。しかしながら、浸水に対する危機感が薄く、実際に避難所に避難される方は1%にも満たない。そこで、住民の目につく場所に最大時の浸水高さの目印を記すことで、最大浸水想定の高さをリアルに体験してもらい避難意識の向上を図る

2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（ ）

地区市民センターを含めた公共施設等に最大浸水高さを示した浸水標識を設置し、地区住民に対し浸水標識を周知することで避難意識の向上を図ることができた。

楠地区内の公共施設37カ所に77枚の「洪水想定浸水深表示板」を施設管理者、自治会長等立会のもと設置し市政記者クラブへの投げ込みを行った。

3. 事業費実績 319,000千円

金額単位:円			
事業項目(種目)	支出科目	支出金額	内訳
まるごとまちごとハザードマップ	委託料	319,000円	
合計		319,000円	

4. 効果 指標 <<設置施設>>37施設

指標	目標	実績(見込)
37施設	37施設	37施設

5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）
来年度は主要道路の電柱等に浸水マークを設置する。



令和2年度地域活動費事業 【実施報告書】

地区名	楠
-----	---

地区内No	4	事業名	ともに考える地域のつどい
-------	---	-----	--------------

1. 課題と方策			
<p>以前は障害者（児）を支援するボランティア団体（エブリステップ）が存在したが、高齢化等により自然消滅した。</p> <p>また、民生委員児童委員の改選を機に障害の有無に関わらず住み慣れたこの町で当たり前に暮らしてもらえるよう障害者（児）に対する支援を見直そうという流れがあるものの、障害者（児）の把握もできておらず、支援ができていないのが現状である。</p> <p>そこで、表記イベントを開催し、実態の把握を行うとともに地域の方々と障害者（児）の交流を図る。また、この事業をきっかけに新たなボランティア活動が生まれることを期待する。</p>			
2. 実施内容	実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 中止→ <input type="checkbox"/> コロナ/ <input type="checkbox"/> その他	
	実施方法（委託の場合は委託先）	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（ ）	
<p>令和3年3月7日楠福祉会館を利用して、障害について正しい知識をもってもらい啓発を行うとともに、地域の方々と交流できるイベントを開催した。</p> <p>1 ミュージックパレットによるベル演奏 2 ポッチャ体験 3 講師による手話と点字体験 4 バルーンアート 5 とこわか塗り絵と手形アート 6 こにゅうどうくんととこまるとの記念撮影 7 あげほの学園相談コーナー 8 人権標語コーナー</p>			
3. 事業費実績		363,440千円	
金額単位:円			
事業項目(種目)		支出科目	支出金額
ともに考える地域のつどい		委託料	253,000円
		消耗品	110,440円
			パテーション、アクリル板
合計			363,440円
4. 効果		指標 《参加者》50名	5. 今後の展開（継続する場合はその必要性）
指標	目標	実績(見込)	<p>本年度コロナ禍において十分な活動が実施できなかったため、楠地区民生委員協議会障害部会が中心となり、障害者（児）との交流、支援を深めるため来年度も実施する。</p>
50名	50名	57名	

ハーモニー 開催の様子



ミュージックパレット



バルーンアート



ポッチャ体験



記念撮影



点字体験



手話体験



とこわか塗り絵



手形アート